

石狩市浜益区
地域協議会広報

浜地協

**だ
よ
り**《発行》浜益区
地域協議会事務局
〈支所地域振興課〉Tel79-2029
Fax79-3702

[VOL168]

新年あけまして

おめでとーございます。

皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、当協議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症の発生から4年目を迎えようとしています。感染者数は増減を繰り返していますが、昨年後半からオミクロン株に対応したワクチンの接種も始まり、ウィズコロナを踏まえた生活様式の実践が求められるなか、不自由感はありませんが、マスクの着用や手洗い、うがい、手指消毒はもとより、フィジカルディスタンスを保ちながら日常生活を送っていたきたいと思います。

昨年もまた、様々な行事や催しの取り止めや規模縮小等を余儀なくされ、特に娯楽の少ない浜益区において、地域の皆さん

が楽しみにしている「各地区のお祭り」が中止になるなか、一大イベントであります「浜益ふるさと祭り」が3年ぶりに開催されました。当日はあいにくの雨模様でしたが、沖揚げ音頭保存会によって「沖揚げ音頭」が披露され、区民はもとより、区外から訪れたお客様に感動を与えました。



また、結成24年目を迎えた浜益小劇場が、3年ぶりに定期公演を行い、小劇場の歴史を振り返る演目になぞらえ、浜益の歴史に触れる機会となりました。今年も癸卯（みづのとう）年です。「癸」は、これから新たな生命が成長しようとする状態を表し「卯」は、穏やかで温厚な性質から「家内安全」の象徴であり、その跳躍する姿から「飛躍」「向上」の象徴です。また、植物の成長も表すことから「豊作」という意味もあり、新しいことに挑戦するには最適な年と言われています。

当協議会も、地域づくりの1層の飛躍・向上を目指し、実り多い年となりますよう取り組んで参ります。

さて、地域協も9期目の折り返しの年となりましたが、地域の振興や活性化、コミュニティの醸成はもとより、今後ますます高齢化が進展する浜益区において、互いに支えあう「高齢者に優しいまちづくり」をテーマとして協議を進めてまいります。先にお願ひしました排雪に関するアンケート調査や、防災リュックの意向調査等も「高齢者に優しいまちづくり」のひとつです。

皆様には引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年一年が、健康で素晴らしい年でありませう、心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

令和5年 元旦

浜益区地域協議会

会長 渡 邊 隆 之

委員一同

令和4年度 第7回 浜益区地域協議会

【と き】 令和4年12月13日(火)
18:00～19:00

【ところ】 浜益支所(庁議室)

【委員】 <出席> 7名 <欠席> 6名

【傍聴】 1名

・会議の概要を掲載しています。

・詳細は、市ホームページで公開中です。

当日は協議事項2件が審議されました。

また、その他の事項で2件の情報提供がありました。

主な内容については、次のとおりです。

協議事項

①令和5年度地域おこし協力隊の募集について

令和5年度採用を予定している地域おこし協力隊について、活動テーマを4つ設定し、募集要項が承認されました。

新年度は地域おこし協力隊2名と集落支援員2名の連携による相乗効果によって、更なる地域づくりに取り組む予定です。

・地域おこし協力隊

募集人員 新規1名

募集期間 1月6日(金)

～2月28日(火)

【活動のテーマ】

①観光プロモーション・企画

積極的な観光プロモーションに取り組んでいただき、浜益観光まちづくり推進協議会や観光協会等、関係団体と連携のうえ、浜益を周年楽しむ着地型観光の実践に取り組む活動

②地域サロンの運営・サポート

区内の皆さんと協力して、元気なお年寄りを益々元気にし、地域の方々も交流できるような、地域内の交流拠点づくりに取り組む活動

③郷土の味・伝承

けんちん汁やニシン漬け、タレ付きジンギスカン等々、区民が「当たり前」と考えていた浜益のソウルフードをPRするとともに、後世に伝承していく活動に取り組む活動

④フリー企画

自由な発想で企画を持ち込み、卒業後、移住・定住を目指す活動



【お問合せ】
石狩市役所浜益支所 地域振興課 担当/佐藤(慎)・佐々木
☎ 0133-79-2029(直通) ✉ h-chikis@city.ishikari.hokkaido.jp

②高齢者に優しいまちづくりに ついて

「高齢者世帯等の自宅排雪に 関する調査」について

11月に区民の皆様は協力いただいた調査の結果について報告がありました。

・回答者の約8割が高齢者及び重度障がい者世帯

・回答者の6割が自分で除雪をしている世帯

・利用価格のイメージは3,000円以下が約半数。3,000円～5,000円の方を含めると、全体の95%を占める

・排雪サービスがあれば利用したいと回答された方は、回答者全体の78%であり、住宅が比較的集まっている地域での利用意向が高い傾向

アンケート結果等を踏まえ、令和4年度の取り組みとして、排雪の実証実験を行うこととしました。実証場所は、旧野村商店(カフェ・クローバー)と、浜益の関係人口創出に取り組んでいるNPO法人ezorockの活動拠点である浜益ベースの2か所を選定、地域協議会委員や地域の協力者にお手伝いをいただき、今シーズン2回程度の排雪作業を行い、来年度以降の事業化へ向けた様々なデータを収集することとします。

協議会「ほれ話

皆さんの浜益ならではの味は？

今回の協議会で、令和5年度採用の地域おこし協力隊が取り組むミッションの中で「郷土の味・伝承」の話題で盛り上がりしました。

特に、浜益の「けんちん汁」とは、どんな定義なのかという事です。

一般的にけんちん汁は、野菜や山菜が入った汁ものという認識が強いようですが、浜益のけんちん汁は、野菜、山菜はもちろんですが、欠かせない食材として「固い塩クジラ」が入るそうです。クジラが入っているか、いないかで、味の仕上がりも全然違い、何よりも、クジラから出る出汁や脂がけんちん汁の味を決める絶対条件なのだそうです。

函館などの道南や、東北地方ではクジラ汁と呼ばれているものが、浜益のけんちん汁に近いのかなと思われませんが、なぜ浜益でクジラが・・・？ 子どものころは苦手だったとか、どんな理由で広まったのか、各家庭のレシピなど、話題が尽きず、色々と気になることが出てきました。

新しい浜益区地域おこし協力隊の任に就く方には、是非とも掘り下げていただいて、ふるさとの味、おふくろの味を伝承して、浜益の食文化をPRしていただきたいと思います。